

学校関係者評価報告書

学校法人 麻生塾
A S Oポップカルチャー専門学校

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況	- 3 -
1. 学校関係者評価の目的と基本方針	- 3 -
2. 学校関係者評価委員出席者名簿	- 3 -
3. 学校関係者評価委員会の実施状況	- 4 -
4. 学校関係者評価委員会の実施方法	- 4 -
5. 学校関係者評価の評価方法	- 4 -
II. 学校関係者評価委員会報告	- 5 -
1. 重点項目について	- 5 -
2. 基準項目について	- 6 -

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的と基本方針

1) 目的

①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、A S Oポップカルチャー専門学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。

②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2) 基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

2. 学校関係者評価委員出席者名簿

区分	氏名	所属(役職)	出欠
高等学校	大山 明	久留米市外三市町高等学校組合立三井中央高等学校 学校長	出席
地域の方	浦川 美代子	博多駅南1丁目1区自治会 自治会長	出席
卒業生	大輪 健太郎	マンガ・イラスト・CG科 卒業生	出席
保護者	松尾 裕之	ゲーム・CG専攻科 ゲーム専攻保護者	出席
企業	今治 智隆	株式会社ヴァイス 代表取締役社長	出席
企業	岩根 誠一	株式会社マトリックス 福岡開発室 技術開発課 課長	出席
企業	宮迫 靖	株式会社D・A・G 本部長	出席
企業	森 瞭維智	株式会社FOREST Hunting One 代表取締役	出席
企業	小林 浩康	株式会社プロジェクトスタジオQ 代表取締役社長	出席
企業	吉田 健	株式会社ピコナ 代表取締役	出席
企業	河原 洋	株式会社studio A-CAT 福岡支社 支部長	出席
企業	久保 陽太	漫画家(個人事業主)	出席
企業	足立 憲一	株式会社ワコム クリエイティブ BU_JP エンタープライズ/デザイン教育 Gr. デザイン教育担当	欠席

※区分別、五十音順、敬称略

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

実施日時：2022年7月6日（水）15:00 ～ 16:00

場 所：麻生塾福岡キャンパス 6号館1階 611教室

（※一部参加者はオンラインで出席）

4. 学校関係者評価委員会の実施方法

2021年度の活動実績に対し学校関係者評価委員と学校とで十分な意見交換を行い、学校の状況について共通理解を深めた。

自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題や改善策について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- （1）自己評価結果の内容が適切かどうか
- （2）今後の解決方向が適切かどうか
- （3）学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- （4）その他、学校の運営に関する助言

5. 学校関係者評価の評価方法

基準項目の小項目ごとに、自己点検・評価と同じく達成度による下記の評価基準によって評価し、基準ごとに自己評価結果が適正であるかどうかを評価した。

自己評価結果に対する学校関係者評価の結果は基準項目ごとに表記している。

また、意見についてもとりまとめて記載している。

評価基準

- S：達成度がきわめて高い
- A：ほぼ達成している
- B：達成がやや不十分であり、若干改善を要する（要観察：放置すると不適合になる）
- C：達成は不十分で改善を要する（不適合）

Ⅱ. 学校関係者評価委員会報告

1. 重点項目について

【重点項目】

- ・教育課程編成委員会の充実を図り、教育理念・育成人材像に沿ったカリキュラムの質の向上
- ・ICTを活用した教育体制の整備、オンライン授業見学の実施とフィードバックを行うことによる個々の教員の教育力向上
- ・教員全体の教育力向上を図り、知識偏重傾向からの脱却の為の取組み強化
- ・学修成果向上を図るため、コロナ禍での学内の授業環境整備

【取組み状況ならびに成果と課題】

- ・オンラインで授業ができる環境を整いつつあるが、作品制作など演習授業においては指導が思うように進まず、就職活動に遅れが出るなどの影響を及ぼした。また、座学授業などでも授業の理解度の確認などが十分に行えているとは言えず、意欲や理解度などによる学習成果の差が開き二極化が進んでいる。
- ・オンライン化が推進されることで特に遠方の企業による会社説明会やセミナーの実施が容易になった。教育力の維持向上を図るため、各教職員の能力向上や資質向上に努めるよう研修、セミナーへの参加促進に取り組んでいる。
- ・オンライン授業に関して、演習の授業では2画面のパソコンが望ましく、一部の科目では学校での環境でしか実施できないものもあり、内容の変更や対応機材の準備など引き続き授業環境の整備に取り組んでいる。
- ・日々の検温や体調管理やオンライン授業の対応などにより、クラスターなどの大きな感染拡大の事例が発生しなかった。また、差別的な発言などの事例も発生していない。

【委員の方からのご意見】

- ・教育課程編成委員会について、適切に運営がなされており各分野において機能していると評価したい。
- ・オンライン授業を録画し、授業の復習に活用する取り組みは評価したい。動画は繰り返し視聴できる為、学生の授業理解度や満足度は向上していると期待したい。
- ・管理職教員がオンライン授業を見学し、個々の教員にフィードバックを行うことは各教員の授業力の向上に繋がる良い取り組みであると考え。是非今後も継続してほしい。
- ・学生の校内入館時間を設定し、教員の業務効率を見直すことで自己研鑽や教育内容の向上への時間を確保する取り組みは評価したい。学生にも時間内で作業を行う習慣を身に付ける指導に活用できると期待したい。

2. 基準項目について

基準 1 教育理念、目的、育成人材像

学校関係者評価結果： 適正

法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像を定め、学校構成員に周知を図り、社会に公表しているか。

【総括】

学校の教育理念等について明文化し、ホームページで公開している。グローバルシティズンベーシック教育（GCB教育）を通じて、麻生塾の学生としてふさわしい考え方を育てている。教職員に対しては「ASOポップカルチャー専門学校運営方針 BOOK」という共有事項を盛り込んだ冊子を新たに作成し、年初のキックオフ会議において全体共有している。

【課題と今後の取組み】

引き続き学校の教育理念・教育目的および育成人材像について、学校構成員全体で意識の醸成をしていく必要がある。教職員に対しては、非常勤講師含めて「ASOポップカルチャー専門学校運営方針 BOOK」配布と定例会議等にて学校の教育理念、教育目的および育成人材像の認識・共有を継続していく。

【委員の方からのご意見】

- ・グローバルシティズンベーシック教育（GCB教育）を通じて、専門教育と同時に人間教育を行う取り組みを評価する。
- ・教育理念・教育目標の周知については、しっかり取り組んでいると評価を得た。
- ・「ASOポップカルチャー専門学校運営方針 BOOK」の作成は評価する。

小項目	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価
1-1-1	「法人の理念」を定め、学校構成員（すべての教員、職員、学生）及び関連業界に周知を図り、社会に公表しているか。	S	S
1-1-2	「学校の教育理念」を定め、学校構成員（すべての教員、職員、学生）及び関連業界に周知を図り、社会に公表しているか。	S	S
1-1-3	各学科の教育目的および育成人材像を定め、学校構成員（すべての教員、職員、学生）及び関連業界に周知を図り、社会に公表しているか。	S	S

基準 2 学校運営

学校関係者評価結果： 適正

学校の理念に沿った運営方針を定め、規定通りに運営しているか。

【総括】

運営方針は法人の理念と学校の理念に基づいて策定され、規定通り運営している。事業計画についても校長代行を中心に運営方針に則り策定し、計画に沿って適切に運営されている。

運営方針・事業計画の全教職員への共有・説明という点については、新たに「ASO ポップカルチャー専門学校運営方針 BOOK」という共有事項を盛り込んだ冊子を作成し、年初のキックオフ会議において全体共有を図ると共に、ルールブックとして活用を図った。

学校運営については、校長代行、教務副主任を中心に定例会議を行い、その後、分野毎に配置したリーダーによる部門会議を開催し、情報共有と意思決定の場として活用している。

【課題と今後の取組み】

社会環境の変化にあわせ、現在使用中のオンラインツールを活用し、テレワークにおいても支障なく学校運営ができるよう対応していく。研修については、世情を反映しオンラインでの開催が進んでおり、積極的に参加をしていくことで教職員の意欲・資質の向上に努めていく。人事に関しては、2021年度で、新制度構築の基盤が出来上がったため、2022年度からは新しい人事制度・評価制度・給与制度の整理再構築を行っていく。

【委員の方からのご意見】

- ・「ASO ポップカルチャー専門学校運営方針 BOOK」の作成し、全職員で共有していることを評価する。
- ・教職員、事務職員の資質向上に取り組んでいることを評価する。全職員の活躍が窺える。

小項目	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価
2-1-1	運営方針を策定し周知しているか。	S	S
2-1-2	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか。	S	S
2-1-3	運営組織や意思決定システムを整備し、また有効に機能しているか。	S	S
2-1-4	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか。	S	S
2-1-5	人事に関する制度を整備しているか。	S	S
2-1-6	教職員の募集・採用・昇格は適切に行われているか。	A	A
2-1-7	給与に関する制度を整備しているか。	A	A
2-1-8	学校業務を支援する事務組織が設置され、十分に機能しているか。	S	S
2-1-9	事務職員の意欲・資質の向上を図るための方策を講じているか。	A	A

基準 3 教育活動

学校関係者評価結果： 適正

- ・教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか。
- ・教育課程の編成・実施方針に基づき、教育課程・教育内容は適切に行なっているか。
- ・教育の評価を適切に行っているか。
- ・成績評価と単位認定を適切に行っているか。
- ・教育活動を確実に実践するために、教育体制の整備を適切に図っているか。また教職員の能力開発のための資質向上の取り組みを行っているか。

【総括】

- ・ディプロマポリシーならびにカリキュラムポリシーについては役職会にて決定したものを明文化し、全教職員にて共有している。
- ・カリキュラムは、教育課程編成委員会で業界ニーズを把握、検討したうえで、教務会議にてより実践的な職業教育になるよう編成している。
- ・授業アンケートの結果に基づき授業評価を行い、その結果を教員に対してフィードバックし、必要に応じて指導を行うなど常に改善を図り、適切な授業評価体制を取っている。
- ・全ての科目で成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に定められており、成績は定期試験及び定期試験に準ずる方法で適切に評価している。また、成績評価等に関する規程については学生便覧等にて学生に周知している。
- ・福岡県私立専修学校設置認可審査基準その他法令を遵守しており、また教員要件・定員に対する法令上必要な人員を配置するなど教育体制は適切に整備されている。

【課題と今後の取り組み】

教育課程編成委員会の充実を図り、今後もカリキュラムについて継続して検討・検証を重ねていく。

2023年度入学より完全単位制導入に向けての検討を行う。より多様化する分野特性に対応する為に、科目選択や習熟度別の授業構成の自由度を向上させられるよう検討を重ねていく。

【委員の方からのご意見】

- ・教育課程編成委員の意見がカリキュラムに反映されていることについて評価する。
- ・技術の進歩の著しい業界にあって、育成人材像に沿った教育を整備・実施するため、教育課程編成委員会等で実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムの見直し及び定期的なカリキュラムの改訂を継続していただきたい。
- ・授業についていけない学生へフォローアップ(授業を録画し活用)、予習・復習の徹底を図ってほしい。
- ・単位制導入は多様化するニーズに対応するために良いと思う。
- ・授業課題について適切な量だが、学生によっては追加課題が必要と判断した場合は追加課題等を準備していただきたい。

小項目	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価
3-1-1	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか。	S	S
3-1-2	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）を明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか。	S	S
3-2-1	教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	S	S
3-2-2	業界のニーズを踏まえ、実践的な職業教育の視点に立った教育内容（学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保等）が提供されているか。	S	S
3-2-3	専攻分野に関する企業・関係施設等や業界団体と連携して教育課程の編成を行っているか。	S	S
3-2-4	教育方法および学習指導は適切か。	S	S
3-2-5	授業はシラバスに基づいて授業が展開されているか。また学校構成員（すべての教員、職員、学生）に周知を図っているか。	S	S
3-2-6	リメディアル（導入前教育、補習）教育を行っているか。	A	A
3-2-7	専攻分野における実践的な職業教育（インターンシップ、企業等と連携した実習・演習等）が体系的に位置づけられ、実施しているか。	S	S
3-2-8	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。	S	S
3-3-1	授業評価の実施・評価体制はあるか。	A	A
3-3-2	授業科目の目標に照らし、授業内容・授業方法の改善を図るための取り組みを行っているか。	S	S
3-4-1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	S	S
3-4-2	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか。	S	S
3-5-1	法令に則りかつ学校の理念・目的の達成に必要な教育課程の種類・分野・学生数を考慮しながら必要な教員組織を構築しているか。	S	S
3-5-2	教員の組織体制を整備しているか。	S	S
3-5-3	教員の専門性や指導力等の維持、資質向上のための方策を組織的、多面的に実施し、教職員及び組織の改善につなげているか	S	S
3-5-4	教員に対して、実務に関する研修等を企業等と連携して行っているか。	S	S

基準 4 学修成果

学校関係者評価結果： 適正

学科ごとに学生の学修成果を中心とした目的・目標を設定して教育活動を行い、多様な視点から成果の達成状況を把握し、改善に活用しているか。

【総括】

教育活動の成果としての成績、検定取得、退学者等の目標値については事業計画の中で全教職員に周知している。進捗状況については毎月、クラス運営報告書として各クラスの状況を報告し、その状況を定期的に学科会議等で振り返っている。月例会議にて学校全体で状況を共有すると共に進捗を確認し、必要に応じて修正を行っている。新型コロナウイルス感染症の影響により、登校自粛期間、遠隔授業の期間が発生したが、各種コンテストや検定試験においても積極的に取り組んでおり、上位入賞や高い合格実績を残している。

【課題と今後の取り組み】

オンライン授業について、学生の授業理解度の検証が必要である。卒業生の社会的評価について定量的な尺度から測れているが、定性的な尺度からより精度の高いフィードバックを得られるように取り組んでいく。

【委員の方からのご意見】

- ・コロナ禍の中、各種コンテスト、検定試験、就職活動のサポートがなされていることは評価できるが、卒業後の専攻分野におけるキャリア形成の把握も進めていただきたい。
- ・卒業後のキャリアも多様性があると思うので、学生が必要とするサポートをしてほしい。
- ・学生情報の管理表を作成し定期的に学生の特性や動向を各教員で共有されていることは評価する。退学率低減や進級率向上に繋がると期待する。

小項目	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価
4-1-1	就職率・就職者の割合の向上と取り組みの成果を上げているか。また結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか	S	S
4-1-2	資格取得率・資格試験および公務員合格率・コンテストおよびコンペ入選の向上と取り組みの成果を上げているか。また結果を分析し、教育活動および学生支援の改善を図っているか。	S	S
4-1-3	資格取得等に関する実施体制およびカリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	S	S
4-1-4	退学率の低減の取り組みが図られているか。また結果を分析し、退学率の低減の改善を図っているか。	A	A
4-1-5	卒業後の専攻分野におけるキャリア形成への適応性、効果を把握しているか。また、それを踏まえ教育活動等の改善を図っているか。	A	A
4-1-6	卒業生の専攻分野における社会的評価を把握しているか。	A	A

基準 5 学生支援

学校関係者評価結果： 適正

学生に対する修学支援、生活支援、進路支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか。

【総括】

学生の進路支援については、学校内に就職専任スタッフを配置しており、担任を中心とした教員全員とともに適切な支援を行っている。ストレスケアへの対応については、法人内の学生相談室の利用を推進している。就学支援を目的とした高等教育無償化の運用も適切になされている。新型コロナウイルス対策については、症状が発生した時の手順をマニュアル化しており、法人内のリスクマネジメント部門と迅速に統一した対応ができる体制ができている。健康管理の面では手指消毒液の設置や共有部の定期消毒、入館の際の体温検査を徹底して行った。

【課題と今後の取組み】

教育効果を高めるには、まだまだ対面授業に優位性がある。コロナ禍における対面授業の実施と感染症のリスク回避とを両立できる施策を取るとともに、オンライン授業でも対面授業と同様の教育効果をあげられるようにアプローチを検討していく。

【委員の方からのご意見】

- ・法人として、組織で学生を支援する体制が整備されていることを評価する。
- ・多様性のある学生が増えている為、支援制度の見直しも継続していただきたい。

小項目	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価
5-1-1	学生への修学支援を適切に行っているか。	S	S
5-1-2	学生の進路支援を適切に行っているか。	S	S
5-1-3	学生相談に関する体制を整備しているか。	S	S
5-1-4	学生の経済的側面に対する支援制度を整備し、適切に運営しているか。	S	S
5-1-5	学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	S	S
5-1-6	学生の生活環境への支援を行っているか。	S	S
5-1-7	保護者との連携を適切に行っているか。	S	S
5-1-8	卒業生・社会人への支援体制を整備しているか。	S	S
5-1-9	学生の課外活動に対する支援を適切に行っているか。	S	S

基準 6 教育環境

学校関係者評価結果： 適正

- ・教育運営に支障を生じさせないように教育設備を整備しているか。
- ・教育環境を適切に維持しているか。

【総括】

学校として基本となる施設、設備については関係部門と連携し、年度毎に教室の見直し及び設備の補充をしており、かつ良好に管理ができています。

オンライン授業の対応としては、必要なソフトウェアやタブレット・パソコンなどを貸出すことで学生全員が受講できるように整備を行った。自宅学習時に必要となる推奨環境について資料化し、新入生向けの入学説明会において案内を行い、学習環境の整備を推進した。

【課題と今後の取組み】

遠隔授業導入に伴う機材の整備と管理方法を拡充していく。

【委員の方からのご意見】

- ・コロナ禍でも滞りなく授業が運営できるよう機材・設備の整備は必ずしていただきたい。
- ・学生1人1台のパソコン等の機材が充足していることは評価する。
- ・学生の登校時に通学路で見守りをしている教員を拝見した。交通安全への取組みとして評価する。

小項目	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価
6-1-1	教育上の必要性に対応した施設・設備を整備し、維持・管理、安全・衛生を確保しているか。	S	S
6-1-2	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか。	S	S
6-1-3	図書室・図書コーナーがあり、図書館サービスは十分に機能しているか。	A	A
6-2-1	実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	S	S
6-2-2	学校における安全管理の整備を行っているか。	A	A

基準 7 学生募集

学校関係者評価結果： 適正

学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。

【総括】

アドミッションポリシーは全教職員に周知し、募集要項及びホームページにて社会に公表している。募集活動においては学科毎の育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を伝えている。募集要項及びホームページに入学者の選抜方法を明示し、公正かつ適切に実施している。教育成果については、サブツールとして「まるわかリーフ」を新たに作成し、卒業後の進路を中心に情報の公開を行っている。

【課題と今後の取組み】

教育課程編成委員会にて意見を募り、学生の受け入れ方針や定員数について学科検討会議の中で継続的に検証していく。今年度から積極的に取り組んでいる高等学校での進路ガイダンスへの参加を継続し、入学対象者（高校生）および高等学校が上級学校に求めるニーズを把握し、学生募集活動に反映させる。

【委員の方からのご意見】

新たに作成した「まるわかリーフ（サブツール）」で就職状況やコンテスト受賞実績等の情報公開は評価する。教育成果を伝える項目の評価も上がっているため、今後の取組みを期待したい。

小項目	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価
7-1-1	入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を策定し、学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表しているか。	S	S
7-1-2	募集活動において、教育成果は正確に伝えているか。	A	A
7-1-3	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか。	S	S
7-1-4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選抜を行っているか。	S	S
7-1-5	学生納付金等は妥当なものとなっているか。	S	S

基準 8 財務

学校関係者評価結果： 適正

教育活動を安定的かつ継続的に進めるため、財務基盤が安定し、適正な財務管理、監査の実施及び情報の公開を行っているか。

【総括】

予算編成に関しては、過年度実績と次年度計画に基づき編成している。収入と支出のバランス、また、貸借対照表からも財務基盤は安定しており、学生に必要かつ快適な教育環境を提供できる財務体質を備えている。監査は、私立学校法及び寄付行為に基づき、監事による監査が適切に行われている。財務情報は、ホームページにて適切に公開している。

【課題と今後の取組み】

今後も予算決算管理及び昨年度対比による財務分析等の取組みを継続的に行っていく。

【委員の方からのご意見】

委員の方からの意見は特になし

小項目	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価
8-1-1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか。	S	S
8-1-2	予算計画は有効かつ妥当なものとなっているか。また予算執行を分析・検証する仕組みの確立がなされているか。	S	S
8-1-3	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか。	S	S
8-1-4	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか。	S	S

基準 9 法令遵守

学校関係者評価結果： 適正

法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正に学校運営を行なっているか。

【総括】

福岡県私立専修学校設置認可審査基準を遵守している。

【課題と今後の取組み】

教職員に法令遵守に関する研修への参加を促す。また、個人情報保護規程の取り扱いについて、教職員会議の場などで定期的な発信と共有に継続して取り組む。

【委員の方からのご意見】

委員の方からの意見は特にないが、法令、専修学校設置基準等の変更が生じた場合は、適切に対応し法令、設置基準等を遵守していく。

小項目	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価
9-1-1	法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか。	S	S
9-1-2	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか。	S	S

基準10 内部質保証

学校関係者評価結果： 適正

教育の質を保証する仕組みを構築し、教育内容等について自己点検・評価を行い、課題解決に取り組んでいるか。また、教育情報を積極的に公開しているか。

【総括】

担当教職員を中心に自己点検・評価を実施し改善項目の抽出を行った。

【課題と今後の取組み】

教職員全体会議、学科会議にて自己点検・評価で出た課題の改善策を協議し、引き続き問題解決に取り組んでいく。

【委員の方からのご意見】

・委員の方からの意見は特になし。

小項目	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価
10-1-1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか。	A	A
10-1-2	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか。	S	S
10-1-3	自己点検・評価及び学校関係者評価の結果を公表することで社会に対する説明責任を果たしているか。	S	S

基準 1 1 社会貢献・地域貢献

学校関係者評価結果： 適正

公共的な機関として、資源を活用して社会的な活動や地域貢献活動を行っているか。

【総括】

新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、ボランティア活動に関しては毎年地域で行われるイベントに参加が出来ず満足な活動が出来なかった。

【課題と今後の取組み】

自治体等の意見を聴取し、地域貢献についての取組みについて協議を行っていく。また、学校特性を活かし、美術館と連携した作品展示活動など、文化的な活性化に繋がる活動に取り組んでいく。

【委員の方からのご意見】

- ・今後の取組みに期待する。
- ・学校周辺の喫煙ルール、公園利用のマナー指導や教職員の巡回見廻りは評価する。
- ・コロナ禍ではあるが、地域行事等で体験型ボランティアが出来れば学生の良い経験になると思うので、検討してほしい。

小項目	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価
1 1 - 1 - 1	公共的な機関として、社会貢献・地域貢献を行っているか。	S	S
1 1 - 1 - 2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	S	S

基準 1 2 国際交流

学校関係者評価結果： 適正

留学生の受け入れ、海外への留学における学習支援や生活指導等を適切に対応し、管理体制を整備しているか。

【総括】

留学生の受け入れについては、事務職員が必要な研修を受け、また関係部門と連携し適正な手続きと在籍管理が行われる体制を整備している。また、留学生については担任を中心として、複数の教職員で関わるようしており相談できる体制を整備している。

【課題と今後の取組み】

学生の海外留学支援については、担当する株式会社麻生キャリアサポートや現地語学学校とのアグリーメントに関して、内容の見直しや業務分担の明確化を行う。

【委員の方からのご意見】

- ・留学生は新型コロナウイルス感染症の影響で、学生間の交流が低減していると予想されるので、少人数でも交流できる機会を与えていただきたい。
- ・留学生は新型コロナウイルス感染症の影響で、日本文化に触れる機会が低減していると予想されるので、学校周辺や福岡県内等で留学生が日本文化に触れるイベントなどを計画していただきたい。

小項目	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価
1 2 - 1 - 1	留学生の受入れ、在籍管理等において適正な手続きを行っているか。	S	S
1 2 - 1 - 2	留学生に対する相談体制を整備しているか。	S	S
1 2 - 1 - 3	海外留学プログラムに対する支援を適切に行っているか。	S	S

以上